

〇 広報

みぶ

2011

1

No.620

主な内容

- 新年のごあいさつ 2～3
- 「壬生町民の歌」を歌おう1000人大合唱… 4～5

誇りたる われらの町歌

ごあいさつ



壬生町長
小菅 一 弥

新年明けましておめでとう
ございます。町民の皆様には、
希望に満ちた平成23年の新春を、
健やかに迎えのこととお慶
び申し上げます。

昨年4月に、第8代壬生町長
に就任をさせていただいてから
早や9ヶ月を迎えようとして
おります。その間、町民並びに
関係各位の皆様のご支援、
ご協力により、各般にわたる施
策を円滑に推進することが出
来ましたことに、心から御礼を
申し上げる次第であります。

昨年は、我が国を代表する企
業である日本航空の破綻やト
ヨタ自動車のリコール問題など、
景気の回復に不安を抱かせる
事件により幕を明けました。

また、住民登録上は100歳
以上の高齢者の所在不明が、各
地で発覚いたしましたことな
ども記憶に新しいところです。

しかしながら、一方では、鈴
木章さんと根岸英一さんが揃
って、ノーベル化学賞を受賞す

るなど、日々不安を抱えながら
生活をする私達に、日本人とし
ての自信と誇りを取り戻させ
てくれた1年でもあったかと
思います。

さて、昨年の我が町を振り返
って見ますと、三つの点で大き
な成果があったのではないかと
考えております。

まず、第1点は、町長に就任
して初めての年が、壬生町第5
次総合振興計画後期基本計画
の策定年度であったというこ
とです。お蔭様で、私のマニフ
エスト関連についても、計画に
盛り込むことが出来ました。そ
して、何よりも、多くの皆さん
からご意見を伺い計画を策定
したということが、「協働のま
ちづくり」に向けての、大きな
成果となったのではないでし
ょうか。

第2点は、「みぶハイウェイ
パーク」にオープンから1年で、
約200万人というお客様を
お迎えできたことです。このよ

うな施設を整備された清水前
町長さんを始めとする関係各
位に、心から敬意を表する次第
であります。

第3点目は、昨年暮れに開催
させていただきました、「壬生
町民の歌を歌おう1,000人
大合唱」の成功です。本当にた
くさんの方々にお集まりいた
だき、厚くお礼を申し上げる次
第です。1,000人余の人々
の声が一つになりCDを作成
出来たということに、心から感
動いたしております。そして、
これにより全町民の一体感を
醸成出来たものと、確信いたし
ております。

新年を機に、以上のような成
果と清水前町長さんや先人の
方々の残された素晴らしい数々
の資源とを旨く調和させ、本町
をさらに飛躍させたいと思
いを強くしております。

なお、平成23年度は、「次の未
来」を見据えたシナリオとして
現在策定中である、壬生町第5
次総合振興計画後期基本計画、
「仮称 壬力UPすまいるプラン」
のスタートの年でもあります。

今計画では、戦略的かつ重点
的に取り組む施策を、「戦略プ
ラン」として、位置付けをさせ
ていただいております。戦略プ
ランは、5つの体系から構成さ
れております。その5つについて、
私の町政運営に対する基本的
な考え及び主要な施策を、述べ
させていただきます。

まず、第1に「協働と改革力

UPのための仕組みづくりに
関するプラン」についてであり
ます。まちづくりの礎は、住民
の皆様との協働であります。そ
の第一歩として、本年は自治会
活動の支援なども、さらに強化
していければと考えております。

また、町民の皆様の負担を軽
減することにより元気なまち
を創出することが出来るよう、
マニフェストの一つでもある
都市計画税の廃止に取り組ん
で参ります。今後、一層の財政
運営の適正化などに努めながら、
平成24年度から段階的に廃止
できるよう、準備を進めて参り
たいと考えております。

第2に、「安心・定住力UPの
ための生活サービスプラン」に
ついてであります。医療・健康
づくりについては、私のマニフ
エストにも掲げておりますよ
うに、獨協医科大学との連携を
尚一層強化して参りたいと考
えております。また、昨年の12
月議会において各医療費助成
制度の改正を、ご可決いただき
ました。これにより、「こども医療」
につきましましては、中学3年生ま
でが完全に無料化となるわけ
であります。また「子育て
環境日本一」に近づいたものと、
大変嬉しく思っております。

また、まちづくりの根幹は、「人
づくり」であると考えておりま
すことから、「論語の素読」につ
いても一層充実させ、子ども達
の倫理観を、高めていければと
考えております。

なお、地域公共交通機関の導
入につきましては、多くの皆様
のご意見を伺いながら、より使
いやすいシステムとし、平成24
年度から実証運行が出来るよ
う準備を進めて参る所存です。

第3に、「生活・基盤力UPの
ための生活基盤整備プラン」に
ついてであります。本年も、引
き続き、町民の皆様にとって身
近な生活関連道路の整備を順
次進めて参ります。さらに、六
美地区雨水排水対策関連事業
や黒川東部地区農業集落排水
事業などにつきましましては、重点
的に推進して参ります。

第4に、「ブランド力UPの
ための地域資源創出プラン」に
ついてであります。オープンか
ら1年で200万人という大
勢のお客様をお迎えすること
の出来た「みぶハイウェイパ
ーク」を本町の壬力・ブランド
の発信拠点として、機能充実を
図ると共に、積極的に活用して
参りたいと考えております。

第5に、「産業・活性力UPの
ための発展チャレンジプラン」
についてであります。主要の農
産物である苺・トマト・ニラな
どについては、農産物イメージ
キャラクター「みぶの妖精ミナ」
を有効に活用し、戦略的にPR
して参りたいと考えております。

そして、現下の最重要課題で
あるのが、「みぶ羽生田産業団
地」への優良企業の誘致であり
ます。県当局と手を携えながら、
積極的に誘致活動を行うと共に、

新年の

産業奨励金や推進体制についても、充実強化を図って参りたいと考えております。

以上、本年の行政運営に対する基本的な考え方を申し上げますが、町民の皆様のご理解並びにご支援を、切にお願い申し上げます次第であります。

さて、1月30日に開催されます郡市町対抗駅伝に、本町が単独チームとして、初めてエントリーしております。私は、駅伝への初出場は、本町が今後も合併をせずに自立の道を歩むという、内外への意思表示でもあると考えております。今回の初出場を、「町民の歌を歌おう1,000人大合唱」と同様に、町全体の一体感の醸成につなげたいと考えておりますので、是非とも応援の程よろしく願います。

なお、本年は、町長就任2年目の年となり、確固たる礎を築いていく上でも、大変重要な年であると認識しております。どうか、町民の皆様には、「活力と創意が生きる希望に満ちたまちみぶ」の実現のため、町政への変わらぬご支援とご協力を、心からお願ひ申し上げる次第であります。

結びに、平成23年が皆様にとりまして、希望に満ち溢れた年となりますことを、心からご祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい平成23年の新春を迎えのことと町議会を代表いたしまして、心からお慶び申し上げます。

日頃より議会活動に対し深いご理解とご協力をいただきありがとうございますことに、心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、地球的環境の変化により、例年になく猛暑が続く、熱中症や農作物への影響、「台風のリラ豪雨」による被害が、局所に発生して甚大な被害をもたらしました。被害に遭われた方々には、心からお見舞い申し上げます。

町の施策では、北関東自動車道壬生PAに隣接する「みぶハイウェイパーク」がオープンして、一周年を迎え200万人を越

える利用者を得て、予想以上の反響を見ており「とちぎわんぱく公園」、「壬生町総合公園」と合わせ、町の観光発信の拠点として、このエリアが今後の町づくりの核として大きな波及効果を期待するところです。

また、羽生田産業団地への企業誘致におきましても、町内産業活性化のために、関連施策が進んでおりますが、議会といたしまして、町執行部と手を携えながら、町民の皆様が安定した希望を持って生活を営む事ができるよう努力して参りたいと考えております。

国政に目を向けますと、民主党に政権交代して約1年4ヶ月、その間、田高、デフレ対応不足、財政危機、危機管理能力の欠如、政治とカネの問題等、内政・外交での不手際を見せ付けられ、国民は「一体何をやっているのか」と叫びたいような有様です。

度重なる失政と迷走の政権に国民は、失望と不信が広がり、参院選では「ねじれ国会」が生まれました。このような、ねじれの国政の停滞は、国民生活に深刻な影響を与えることから、早期に政策合意に結ぶる知恵を出し合い、国と地方が直面する重要課題に取り組むことを期待しております。

また、「地域主権改革」の「国と地方の協議の場に関する法律」をはじめとする「地域主権関連三法」は未だ成立していない状況にあります。これらの法律は、真の地域主権の実現に必要不可欠なものであり、早期に成立することが大事であると思えます。

孔子の論語に、「民は信なくば立たず」と政治の要諦を示しております。「信義が失われたら人間社会そのものが成り立たなくなる」との至言です。政府は、不安や不信を抱かせないよう「納得できる政治」を、庶民が安心して生活を営める「信頼できる施策」を最優先に取り組んでいただきたいと思えます。

町議会関係では、3月28日に議員選挙があり新体制での議会に取り組んでおります。従前から議会の活性化など、議会改革はもちろんな住民サービスの向上につながる改革を、積極的

に取り組んで参りました。

12月定例会では、初めての議場コンサートを開催し、今年、こども模擬議会の開催を予定しているところです。議会は住民の代表機関・合議機関、立法機関として、また、首長と議会の二元代表制の趣旨である「チェック・アンド・バランス」のもと、議員一同、今後も町民の代表として更なる活性化と開かれた議会を目指して改革を実行して参りたいと思えます。

また、私も議会人として、まして「歴史と伝統が生きづく壬生町」を、次代を担う方々にしっかりと引き継ぐことが、責務であると考えております。

本年も、社会経済情勢の厳しい中ではありますが、町民の皆様とともに、より豊かな住みよい町づくりをめざして取り組んで参りますので、引き続き町議会に対しましてのご支援並びにご協力をお願い申し上げます。

結びに、壬生町の限らない繁栄と皆様方にとって本年が、更なる飛躍の年になりますことを、心からご祈念申し上げます年頭のごあいさつとさせていただきます。



壬生町議会議長
細井 敬一



壬生町民の歌を歌おう！ 1,000人大合唱

12月26日、壬生中央公民館大ホールにおいて壬生町民の歌を歌おう1,000人大合唱が開催されました。

これは、来年度で制定30周年を迎える町民の歌を広く知ってもらい、一体感あるまちづくりに役立てるため、新たに作成する「壬生町民の歌」のCDに、町民1,000人による大合唱を収録しようと企画されたものです。

式典の冒頭では、町内のイベントで歌を披露し、壬生町民の歌の普及に貢献されている松山美由紀まつやま ゆきさんが「壬生町民の歌広報大使」に委嘱され、委嘱状が送られました。

いよいよ収録が始まると、作曲者である大森忠さんによる指揮と、松山さんの歌唱指導の下、会場に集まった町民1,200人は心を一つにし、大変すばらしい大合唱となりました。歌い終わった後には、会場から自然と大きな拍手がわき起り、イベントは大成功に終わりました。

大合唱収録後は、参加された方へのお礼として、松山さんによるミニコンサートと、協賛いただいた団体・企業の皆様ご提供の野菜やおもちゃがプレゼントされました。

なお、今回の大合唱が収録された新版「壬生町民の歌」CDは、2月下旬頃販売予定です。

壬生町民の歌

2010



松山さんによるミニコンサート



大森さんによる指揮



壬雷ちゃんとミーナちゃんもかけつけました



委嘱状授与



協賛団体・企業より提供していただいた記念品を配布しました



1200人の歌声が会場に響きました

協賛団体及び企業

大合唱当日に会場で配布
しましたプログラムや記念
品は、左記の団体及び企業
にご提供いただきました。

壬生町 苺出荷組合

組合長 中村 正

壬生トマト部会

部会長 糸川 秀夫

壬生ニラ部会

部会長 阿久津 良治

おもちゃ団地協同組合

理事長 湯本 博一

栃木ケーブルテレビ

代表取締役 石村 光正

有限会社佐藤デザイン事務所

代表取締役 佐藤 哲男

みんなで築こう人権の世紀

—考えよう 相手の気持ち・育てよう 思いやりの心—

人権書道・人権作文コンテスト

人権尊重の重要性について理解を深めるとともに、豊かな人権感覚を培うことを目的として、宇都宮地方事務局・栃木県人権擁護委員連合会・栃木人権擁護委員協議会では、例年、小・中学生に人権に関する書道・作文をお願いしています。小学生人権書道、中学生人権作文コンテストで優秀な成績を収めた児童・生徒並びに作品の一部を紹介します。



人権書道

●最優秀賞

壬生小学校4年

坂本 さかもと

葵 あおい



壬生小四年坂本葵

●最優秀賞

壬生小学校5年

鈴木 すずき

沙也果 さやか



壬生小五年鈴木沙也果

●最優秀賞

壬生東小学校5年

村上 むらかみ

萌望 もえみ



壬生東小五年村上萌望

●最優秀賞

壬生東小学校6年

飯野 いの

航平 こうへい



壬生東小六年飯野航平

●最優秀賞

安塚小学6年

斉藤 さいと

扇色 みゆ



安塚小六年斉藤扇色

●優秀賞

学校名	学年	氏名	課題
壬生小学校	3年	入江 登生	ともだち
壬生北小学校	3年	菊地 理菜	ともだち
安塚小学校	4年	柏倉 歩実	思いやり
壬生小学校	5年	入江 みるか	自由平等
壬生小学校	6年	大川 優希	人権尊重
壬生小学校	6年	大垣 海都	人権尊重

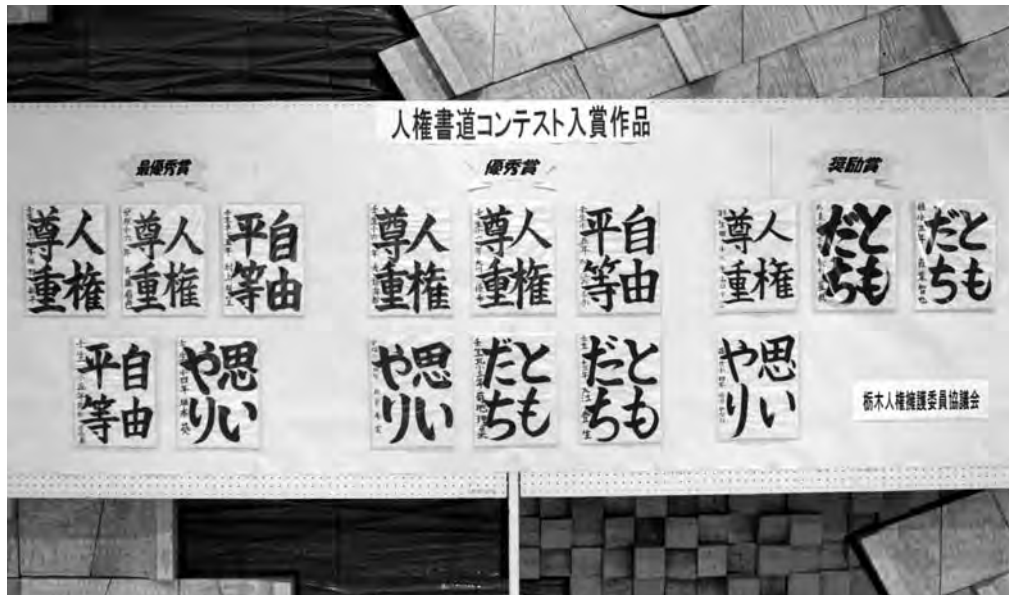
●奨励賞

学校名	学年	氏名	課題
睦小学校	3年	葭葉 智也	ともだち
稲葉小学校	3年	飯村 星哉	ともだち
藤井小学校	4年	明石 ひなた	思いやり
羽生田小学校	6年	山口 宇広	人権尊重

人権作文

●奨励賞

学校名	学年	氏名	題名
壬生中学校	2年	木野内 聖羅	いじめて失う代償と いじめの恐ろしさ
南犬飼中学校	3年	相樂 史織	子どもの幸せについて 考えたこと



人権書道の入選作品は壬生中央公民館に展示されました

人権街頭啓発活動を実施

法務省・全国人権擁護委員連合会では、毎年「人権デー」（12月10日）を最終日とする1週間（12月4日～10日）を「人権週間」と定め、世界人権宣言62周年を迎えた今年も「第62回人権週間」として、人権尊重思想の普及高揚のための啓発活動を展開しました。そこで、町人権擁護委員協議会では、12月10日に町内のスーパー2カ所において、街頭啓発活動を実施しました。





確定申告は期限内に!

住民税・所得税の申告は、2月15日（火）から3月15日（火）までです。
町では、次の表のとおり各会場において申告受付を実施いたします。
各会場では、8:30に開場し、番号札を配布いたします。
例年、申告期間の終了間際になりますと、各会場が大変混雑しますので、
なるべく日程表の該当日に申告くださるよう、よろしくお願いいたします。

○壬生町会場

月 日	曜日	申告割当地区(大字単位)		会 場
		午 前 の 部	午 後 の 部	
		9:00~11:30	13:00~16:00	
2月15日	火	羽生田	上稲葉	稲葉地区公民館
2月16日	水	下稲葉	福和田	
2月17日	木	七ツ石		
2月18日	金	緑町一丁目・二丁目	緑町三丁目・四丁目	南犬飼地区公民館
2月19日	土	幸町一丁目・二丁目	幸町三丁目・四丁目	
2月22日	火	安塚1~859番地	安塚860~899番地	
2月23日	水	安塚900~1,000番地	安塚1,001~1,200番地	
2月24日	木	安塚1,201~2,050番地	安塚2,051番地~	
2月25日	金	中泉・上田	北小林	
2月26日	土	国谷	助谷	
3月 1日	火	落合一丁目~三丁目	いずみ町・若草町	
3月 2日	水	あけぼの町・寿町	おもちゃのまち一丁目~四丁目	
3月 3日	木	壬生甲	壬生乙	壬生中央公民館
3月 4日	金	本丸一丁目	本丸二丁目	
3月 5日	土	中央町・通町	大師町	
3月 8日	火	壬生丁1~125番地	壬生丁126~159番地	
3月 9日	水	壬生丁160~229番地	壬生丁230番地~	
3月10日	木	至宝一丁目・二丁目	至宝三丁目・壬生丙	
3月11日	金	表町	藤井	
3月12日	土	元町	駅東町	
3月15日	火	町内全地区	町内全地区	

★申告会場の開場および番号札の配布

開場の時間は8:30です。開場後に番号札を配布いたします。

★申告割当地区

申告日につきましては、地区割（大字単位）で指定しておりますが、ご都合が悪い場合は、割当地区以外でも申告を受付できます。

★次の方は町会場での申告受付はできませんので、税務署会場において確定申告をすることになります。

また、下記以外でも申告内容により税務署会場で確定申告をする必要がある場合があります。

- 個人売買等による譲渡所得（土地・家屋・株式等）がある方
- 青色申告をされている方

※栃木税務署の確定申告会場は栃木商工会議所大ホールになります。

税務署会場での申告期間は2月16日（水）から3月15日（火）までです。

★お持ちいただく書類等

- ①印鑑
- ②源泉徴収票（コピーではなく必ず原本をお持ちください）
- ③生命保険料や地震保険料等（地震保険料及び旧長期損害保険料）の控除証明書
- ④社会保険料（国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料・国民年金保険料）の領収書
※社会保険料のうち国民年金保険料は、控除を受ける場合に証明書類を添付または提示する必要がありますので、必ずご持参ください。
- ⑤その他所得控除や税額控除を受けるのに必要な書類
- ⑥金融機関の口座番号の控え（申告者ご本人名義のもの）等



問合せ先

町総務部税務課町民税係 ☎81-1817

新成人の皆さま おめでとうございます

20歳がスタート!『国民年金』

日本国内にお住まいの20歳以上60歳未満の方はすべて国民年金に加入し、保険料を納めることになっています。その国民年金制度（下図の第1～第3号被保険者）は、職業などによって別れており、転職・住所変更・結婚により扶養することになる等の諸手続先も、それぞれ違いがあります。国民年金は、老後の生活保障だけでなく、万が一、病気やケガで障がいが残ったときや、一家の働き手が亡くなったときなど、あなたやあなたのご家族を守ってくれるものでもあります。

ただし、加入の届出や保険料の納め忘れがあると年金が受けられないこともあります。将来の老齢年金は、最低25年（300月）の納付が免除・猶予の承認がなければなりません。納付が難しい場合は、未納のままにしておかず、免除等の申請により承認となれば年金の資格期間として月数をカウントすることができます。

加入者は
右記の
3種類です

種 別	第1号被保険者	第2号被保険者	第3号被保険者
加入者	自営業者・学生など (会社等を辞めたときは、 加入手続が必要です)	会社員・公務員等	会社員・公務員等に扶養されて いる配偶者（妻又は夫）
保険料	納付書・口座振替等で	給料・ボーナスから	配偶者の年金制度から拠出
手続先	役場町民生活課 稲葉・南犬飼出張所	勤務先	配偶者の勤務先

保険料の納付は、1ヶ月15,100円（平成22年度）です

第1号被保険者の方は、納付をご自身ですることになります。前納は割引があります。

- ◆納付方法 ・納付書（現金）払い……………金融機関・郵便局・コンビニで
・口座振替・クレジットカード……………金融機関・年金事務所で手続きを

- ◆現金払の前納割引（平成22年度額）1年（3,220円）・6ヶ月払（740円）の割引

- ◆口座振替割引 毎月納付・当月振替（毎月50円）・1年前納（3,800円）・6ヶ月前納（1,030円）の割引

☆口座振替・クレジットカード納付については、事前に年金事務所への申請が必要です。引落日または納付期限は、1年前納が4月末日・6ヶ月前納が4月末日と10月末日です。口座振替・クレジットカード納付の手続きは、引落日2ヶ月前までに登録を完了することが必要です。（クレジットカード納付の割引額は、現金納付と同じです）

保険料の納付が困難な場合には、学生と20歳台の方に特例制度があります

★学生納付特例制度

学生本人の前年所得が社会保険料等の控除後118万円以下である方は、申請により年金事務所で承認された期間は未納とは違い年金受給の資格期間となります。

★若年者納付猶予制度

学生を除く20歳台の被保険者本人と配偶者の所得が57万円以下の場合は、申請により保険料を後払いにすることができます。

※ 学生納付特例制度と若年者猶予制度は、将来の年金額には反映されないため、納められるようになった場合、10年以内（平成22年4月分なら平成32年4月まで）であればさかのぼって保険料を納める（追納）ことができます。但し、承認を受けた翌年度から起算して3年度目以降は加算金が付きますのでなるべくお早めの追納をお勧めいたします。

申請は、役場保険環境課または稲葉・南犬飼出張所へ年金手帳と印鑑と学生証（学生納付特例）をお持ちいただき申請ください。同世帯の方の申請は、本人確認も必要です。

◎問合せ先 ●ねんきんダイヤル ☎0570-05-1165（IP電話から03-6700-1165）
●栃木年金事務所 国民年金課 ☎22-6074
●町民生部保険環境課国民年金係 ☎81-1827

ご家族おそろいでお出かけください。入場無料 !!

2/19日土・20日日

時間：9:00～17:00

会場：壬生中央公民館

ロビー

■お茶席

2/20(日) 10:00～15:00

お気軽にご利用ください。1席200円

■第21回壬生町消費生活展

(壬生町消費者友の会)

2/19(土)・20(日) 10:00～15:00

テーマ 地球環境はあなたとわたしの足元から

●マイバックを使おう

実演コーナー エコクラフト（ペン立て作り）

希望の方は空いた茶筒をお持ちください。



正面玄関



◆花の即売コーナー 19・20日
(ガールスカウト)

◆うどん・そば
販売コーナー 20日
(青少年クラブ)

※即売した益金の一部を社会福祉協議会
に寄附させていただきます。

ご案内

町歴史民俗資料館「友の会」第18回作品展

- 期 間..... 2月19日(土)～2月27日(日)
- 会 場..... 壬生町立歴史民俗資料館研修室
- 内 容..... 展示品「はにわ、縄文土器、近世壬生の古文書研究」
作品即売「はにわ、土器、アクセサリーなど」
- 問 合 せ 先..... 町歴史民俗資料館 ☎82-8544

生活に潤いと楽しさを与える

第23回

公民館まつり

大ホール

■ステージ部門発表会

2/20(日) 9:30～

大正琴・民舞・新舞踊・太極拳・いきいき元気体操・
バレエ・フォークダンス・コーラス・マジック・フラダンス・
安塚五段ばやし・オカリナ・よさこい踊り



中ホール

■作品展

実演・体験コーナーも有ります)

2/19(土)・20(日) (20日は16:00まで)

ちぎり絵・ふくべ一刀彫・籐工芸・押し花絵・
和紙人形・日光彫・写真・七宝焼・絵画・編物・書道
・ステンドグラス・水墨画・竹工画・生花・絵手紙
・着物リサイクル



●問合せ先

壬生中央公民館
☎82-0108

稲葉地区公民館
☎82-7374

南犬飼地区公民館
☎86-0031

しもつけ古墳群

しもつけ は おう
…下毛野の霸王、吾妻ノ岩屋から車塚へ…

開催期間
平成23年2月5日^土～3月13日^日

昨年、吾妻古墳から出土し話題を集めた「銀装の刀子」(小刀)と「金銅製帯金具」についても展示いたします。ただし、一時展示できない日もありますので注意してください。

記念講演会 及び 「しもつけ古墳群」シンポジウム

〈講師〉
国立歴史民俗博物館教授 広瀬 和雄氏

〈期 日〉
平成23年2月12日^土 午後2時～

〈会 場〉
壬生町立中央公民館 中ホール

壬生町立歴史民俗資料館

開館時間▶午前9時～午後5時 休館日▶月曜日、火曜日(午前中)
入 館 料▶一般200円(小・中学生は無料) ※2月11日は開館しております

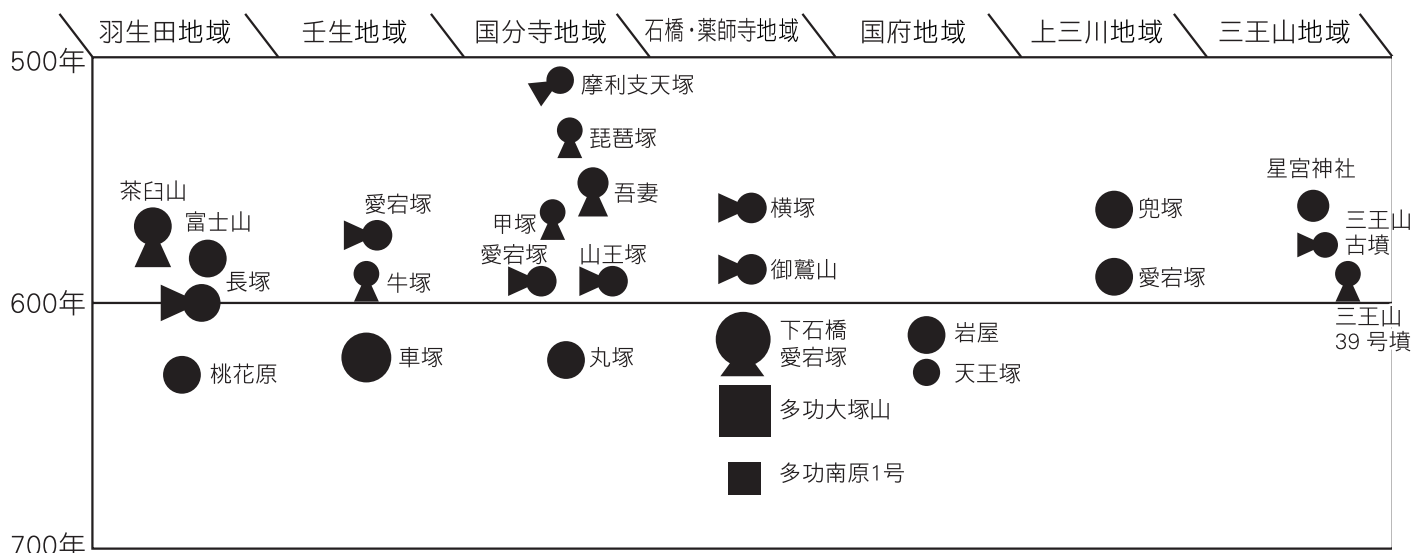
〒321-0225 栃木県下都賀郡壬生町本丸1-8-33 TEL 0282(82)8544

「しもつけ古墳群」

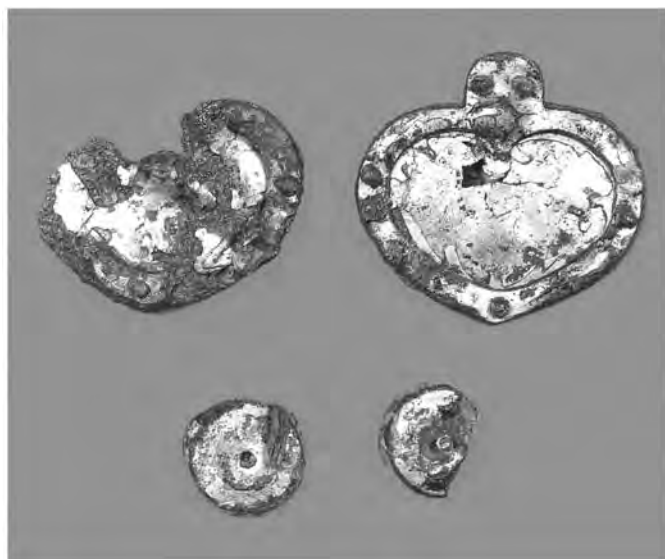
栃木県南部の思川・田川流域、現在の壬生町から栃木市、下野市にかけての地域は、古くから古墳時代後期に造られた大型古墳が数多く存在することで知られてきました。そして近年ではこれら首長墓とされる大型古墳には、次のような共通性があることがわかってきました。

- 1 墳丘の第一段平坦面を幅広くつくる。いわゆる「基壇」と称される施設をもっている。
- 2 石室に巨大な凝灰岩の切り石を用いる。
- 3 前方後円墳においては、石室を前方部に造る。

このような要素をもつ古墳を「下野型古墳」と称し、これらの通性をもつ首長墓やその周辺の中・小の古墳をも含め、東西・南北とも約15km にわたる範囲を「しもつけ古墳群」と呼びます。



「しもつけ古墳群」編年図



羽生田地域の古墳「桃花原古墳」

7世紀前半に造られた羽生田地域最後の首長墓です。墳丘は三段築成の円墳です。発掘調査から、石室の入口前面には川原石で造られた「前庭」といわれる祭祀の場が確認されています。

「前庭」からは長さ1mを超える直刀や大量の鉄鏃とともに、金銅張りの馬具が数多く出土しています。また本墳からは「斧状鉄製品」と称される特殊な遺物も出土しており、「しもつけ古墳群」の中にあっては、羽生田地域の古墳群は、特別な古墳群と考えられます。

写真：金銅張り杏葉及び辻金具（壬生町教育委員会蔵）



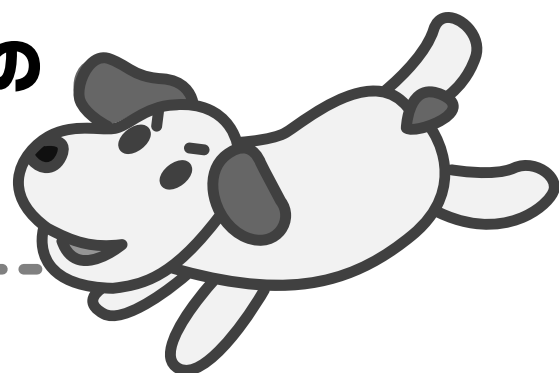
石橋・薬師寺地域の古墳「横塚古墳」

6世紀後半に造られた同地域最初の首長墓です。東西に主軸をもった前方後円墳です。全長は約52m、高さが約6m程の規模をもつことがわかっています。現在は石室の奥壁として用いられていた巨大な凝灰岩の一枚石が残るのみです。

石室内からは、直刀をはじめとする武具類や金銅製の豪華な馬具類が出土しています。また、挂甲と称される当時の甲冑の小札がほぼ一領分出土しています。

写真：「横塚古墳」出土小札（星宮神社蔵）

犬を飼うには、登録などの 手続きが必要です



犬の登録は、飼い主の義務です

新しく犬の飼主になる場合、飼主は犬が家に来た日から30日以内に、生後90日以内の子犬の場合は、生後90日を経過してから30日以内に）町保険環境課窓口で登録の手続きをしてください。

登録の際に交付される犬鑑札は、首輪等につけてください。

・登録手数料 3,000円

狂犬病予防注射を受けさせましょう

犬に狂犬病予防注射を、毎年1回受けさせなければなりません。春と秋の集合注射会場や最寄りの動物病院で狂犬病予防注射を実施すると、注射済票も併せて受け取ることができます。

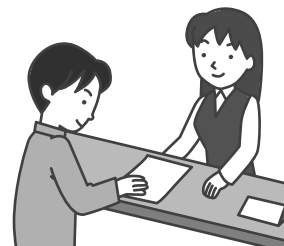
最寄りの動物病院に注射済票がない場合には、獣医師が発行する狂犬病予防注射実施証明書を持参し、町保険環境課窓口で注射済票の交付申請の手続きをしてください。

但し、子犬の場合は、生後91日以降に受けることとされています。

注射済みの犬に交付される注射済票は、首輪等につけてください。

・集合注射代金 3,300円（注射代金2,750円＋済票交付手数料550円）

・動物病院での注射料金は、動物病院にお問い合わせください。



犬の登録事項が変わったとき

次の事項が変更となった場合には、町保険環境課窓口で変更の届出が必要です。

- ・犬の所在地
- ・犬の所有者
- ・犬の所有者の氏名（婚姻等による氏名の変更）又は住所

壬生町で登録している犬が町外に引越するとき

転出先の市区町村役場で30日以内に変更の届出が必要です。壬生町で交付を受けた鑑札を担当課窓口を持参してください。

紛失した場合は、壬生町で再交付を受ける必要があります。

・再交付手数料 1,600円

町外で登録している犬が壬生町に引越したとき

町保険環境課窓口で、30日以内に変更の届出をしてください。以前お住まいの市区町村役場で交付を受けた鑑札を必ず持参してください。

紛失した場合は、以前お住まいの市区町村役場で再交付を受けてから、鑑札を持参してください。

犬が死亡したとき

犬の鑑札及び注射済票を添付して、町保険環境課窓口へ届出してください。

動物に関する相談は？

次のような場合は、栃木県動物愛護指導センター（☎028-684-5458）にお問い合わせください。

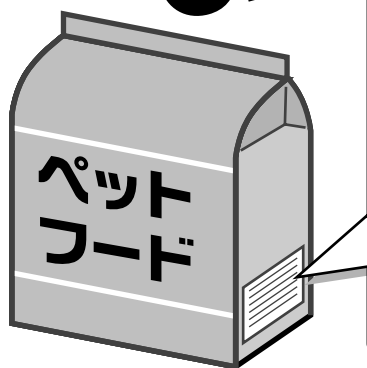
- ・飼い犬が迷子になった場合
- ・負傷した犬や猫の保護
- ・咬傷事故等について



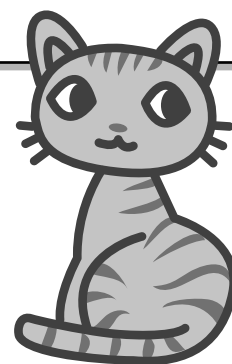
犬・猫用ペットフードの 「5つの表示」が義務化されました

愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律（ペットフード安全法）により、平成22年12月2日以降の製造分から、犬・猫用ペットフードの次の「5つの表示」が義務化されました。

Check!



- | | |
|-----------|---------------------------------------|
| ① 名 称 | 犬用か猫用かをわかるように表示します。 |
| ② 賞 味 期 限 | 栄養価や風味を保障できる期限です。 |
| ③ 原 材 料 名 | 添加物を含め、使用している原材料をすべて記載します。 |
| ④ 原 産 国 名 | ペットフードが生産された国です。 |
| ⑤ 事業者名と住所 | 事業者の種別（製造業者、輸入業者又は販売業者）と名称、住所が表示されます。 |



ペットフード安全法の規制だけでは、ペットの健康を維持することはできません。飼主自身がペットを理解し、必要な栄養素、食べ物などを適切に給餌しましょう。



人間の食べ物を与えてはいけません。

ペットを溺愛するあまり、人間と同一視して人間の食べ物を与えていませんか？栄養バランスが崩れて健康を損ねてしまいます。人間の食べ物は、ペットに絶対与えてはいけません。

犬や・猫が1日に取る食塩の量は人間の1/3程度で十分です。人間が食べている惣菜やハム、ソーセージなどを与えると塩分摂取が過剰となり、心臓や腎臓への負担となります。



痩せすぎ、太りすぎにならないように体重管理に注意しましょう。

犬や猫を健康に育てるときに、大きくなるのがイヤだといって、成長のために多くのカロリーを必要とする子犬や子猫に与えるペットフードの量を減らしていませんか？年齢によって必要とするカロリーは違いますので、適切な食餌を適切な回数で与えましょう。

おやつは、犬や猫とのコミュニケーションをとるひとつの手段ですが、カロリー表示を確かめてペットフードの量を調節したり、適度な運動をさせたりして肥満を防ぎましょう。



いつでも新鮮な水が飲めるようにしましょう。

水は、全てのペットにとって生きていくために必要不可欠です。いつでも新鮮な水が飲めるようにしましょう。



日ごろから、犬や猫の体調を観察しましょう。

犬や猫は、体調が悪いときでも、言葉で飼主さんに伝えることはできません。よく観察しておくことで、病気の前兆を知ることができますし、獣医師に診てもらうことで、病気の悪化を防ぐことができます。

地球温暖化防止と持続可能な社会形成のために

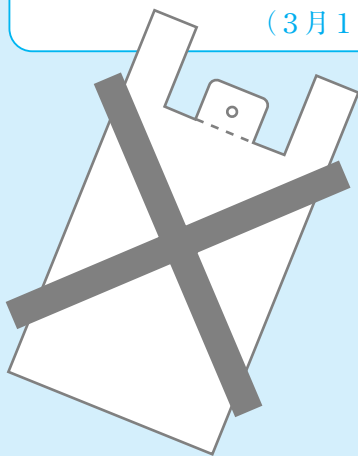
3月1日から

「ジャスコみぶ店」 ヤオハンおもちゃのまち店」も レジ袋の無料配布を中止します。

町では、地球温暖化防止と持続可能な社会形成のために、「レジ袋削減推進協議会」を設立し、レジ袋の削減を目指しています。そのために、レジ袋の無料配布を中止していますので、マイ・バッグ、マイバスケット等の持参にご協力をお願いします。

「壬生町におけるレジ袋削減協定」により レジ袋の無料配布を中止する店舗

- ・カスミ壬生店（実施中）
- ・シンユーストア（実施中）
- ・コープおもちゃのまち店（実施中）
- ・ジャスコみぶ店（3月1日から実施予定）
- ・ヤオハンおもちゃのまち店（3月1日から実施予定）



レジ袋を削減するには

- ・買い物時には、マイバッグ・マイバスケット等を持参する。
- ・家にあるレジ袋を繰り返し利用する。
- ・単品で小さいものを購入した際は、「そのままで結構です」の一言。

マイバッグ使用のマナー

- ①お買い物の最中は、「マイバッグ」は折りたたんでおきましょう。
- ②買うものは、お店に備え付けの「買い物かご」に入れましょう。
- ③レジを通ってから、「マイバッグ」を使いましょう。
- ④お店の「買い物かご」は、決められた場所に戻しましょう。

○問合せ先 栃木県環境森林部地球温暖化対策課計画推進担当
☎028-623-3187
町民生部保険環境課環境保全係
☎81-1834

おもちゃ博物館 お正月特別開館

1月3日・4日の2日間、毎年恒例のおもちゃ博物館お正月特別開館が行われました。

館内には、各所に和風や中国風が展示され、手作り羽子板コーナーや手作り風教室では、お父さんお母さんに手伝ってもらいながら、オリジナルの風や羽子板を作って楽しんでいました。

その他、4日には「琉球國祭り太鼓栃木支部」によるエイサーの演舞、別館では、お子様限定のおもちゃプレゼントが行われ、訪れた皆さんはお正月を満喫していました。





全日本アマチュアスケートボード選手権 安塚小5年寺内楓くんが6代目チャンピオンに！

11月6日から7日にかけて、岐阜県中津川スケートパークにおいて、「OAKLER BIG DAY OUT AJSA全日本アマチュア選手権」が開催され、安塚小学校5年生の寺内楓くんが見事6代目チャンピオンに輝きました。

この大会は上位8名の選手にプロの資格が与えられ、寺内くんは来年から最年少プロとして活躍の場を広げます。

寺内くんは、学校が終わった後や休日にはお父さんと一緒に長時間の練習をしているそうです。スケートボードの好きな所は「いろいろな技が覚えられること」と楽しそうに話してくれました。小菅

町長からも「世界を目指して頑張ってもらいたい」とのエールを受け、これからの更なる活躍が期待されます。

グラウンドゴルフ大会で、 交通安全の喚起を図る

11月20日、安塚中央自治会（安生勝英会長）では、安塚小学校の校庭において第9回グラウンドゴルフ大会を開催しました。

これは、年に2回開催される大会で、今秋は、大崎巡査長から年末・年始に向けて「交通安全や防犯について」のお話をいただきました。

特に、自分で車を運転するときには「高齢者に優しい3S運転」を心がけるようにとの説明を受け、楽しみながら勉強できた有意義な大会になりました。



「ミニスポーツ大会」を開催 睦コミュニティ

11月21日、快晴の秋空のもと、睦地区コミュニティ推進協議会によるミニスポーツ（歩け歩け）大会が開催されました。

子供からお年寄りまで200人の参加者は、各自治会から総合公園陸上競技場まで約3kmの道のりを歩きました。早く会場についた自治会は、更にわんぱく公園やみぶハイウェイパークまで足を伸ばしました。

陸上競技場では、ボール渡しやグラウンドゴルフホールインワンなどのゲームやお弁当を楽しみました。

多くの人々の交流が深まった有意義な一日でした。



「第24回壬生町綱引き大会」を撮影・放送します！

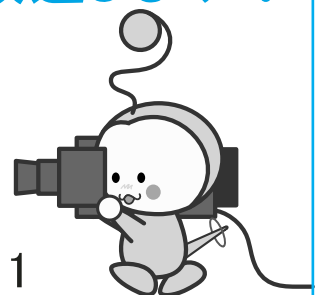
撮影日：2月6日（日）

放送日：2月7日（月）～13日（日）

「CC9ニュース」にて放送予定です！ぜひご覧下さい。

※放送の予定は予告なく変更することがあります。予めご了承ください

梶木ケーブルテレビ お問い合わせはこちら
TEL:0282-25-1811





第10回ファミリーウォークラリー開催

11月21日、至宝町南自治会（くめかわたか お 糸川隆男会長）では、会員相互の親睦を深めコミュニケーションを図ることを目的として、恒例のファミリーウォークラリーを開催しました。

170名の参加者は、国谷駅からわんぱく公園（かぜの原っぱ）までの約2.5 kmの道のりをウォークラリーした後、かぜの原っぱでは、スポーツチャンバラ、紙飛行機飛ばし、輪投げ、○×クイズ等を行いました。大人と子どもがいっしょになり、会員相互のコミュニケーションを図ることができ、楽しい一日になりました。



町の施設めぐり



11月22日、栃木特別支援学校壬生地区活動（代表 すずき すみこ 鈴木純美子氏）で町の施設めぐりを実施しました。

鈴木さんの呼びかけにより24名の方が参加し、町のパスで下野市の石橋地区消防本部、みぶハイウェーパーク、清掃センターの3ヶ所を見学しました。

石橋地区消防本部では最近の活動状況についての話を聞いた後、本部内を見学し、消防・救急車両についての説明を受けました。清掃センターでは搬入されたゴミを処理する工程についてのビデオを見た後、焼却炉で実際に焼却処理している様子を見学しました。



12月14日、壬生町ひまわり会（なるとようこ 瀬戸洋子会長）で町の施設めぐりを実施しました。

瀬戸会長の呼びかけにより21名の方が参加し、町のパスで清掃センター、授産施設むつみの森、子ども発達支援センタードリームキッズ、みぶハイウェーパークの4ヶ所を見学しました。

清掃センターでは搬入されたゴミを処理する工程についてのビデオを見た後、焼却炉で実際に焼却処理している様子を見学しました。また、むつみの森

とドリームキッズではハンデを持つ方の就労訓練の様子を見学した後、設備や取り組みについて説明を受けました。

※自治会等の団体による町の施設めぐりを実施しています。

詳しくは、町企画財政課情報広報係（☎81-1814）までお問い合わせください。

ステラ獨協前保育園

平成23年4月1日オープン



【法人本部】

栃木市田村町928番地
TEL 0282-27-3969
FAX 0282-27-5408
<http://www.sfk.or.jp/>

* 介護老人福祉施設

特別養護老人ホーム

* 介護老人保健施設

星風会ケアハウス

* 重度心身障害児施設

* 障害者支援施設

代官荘
ノイエ シュテルン
ケアルネッサンス
星風会病院
悦山荘



体育指導委員表彰

11月25日、岐阜県、岐阜市メモリアルホールで開催された、第51回全国体育指導協議会において、（社）全国体育指導委員連合より壬生町から4名の方が体育指導委員30年勤続表彰を受けました。

後日、鈴木正浩会長、柳澤健一さんのお二人が受賞の報告に町長室を訪れました。

受賞者：鈴木 正浩さん・中島 義家さん
柳澤 健一さん・玉田 隆 さん

「認め合い、高め合おう」遊学塾まつり

12月4・5日、「認め合い、高め合おう」をテーマに、第18回遊学塾（代表池節子氏）まつりが開催されました。

2日目のフラダンス発表の時間になると、「せせらぎ学園」の皆さんが応援にかけつけ、まつりはさらに盛り上がりました。

これからも、落合教育長の挨拶の中での「みんな違ってみんないい」をモットーに、遊学塾は地域生涯学習として更に高め合いながら学習を続けていくそうです。



南会津「息吹」ミュージカルに特別出演 壬生寺保育園



※写真提供 近藤麻里子

12月5日、壬生寺保育園（渡邊光喜園長）の園児・卒園児が、福島県南会津町の御蔵入交流館で行われた、ミュージカル「息吹～南山義民喜四郎伝～」に「肝高のうた」のダンスで特別出演しました。

これは、南会津の小・中・高校生が、自分たちの郷土の歴史・文化を学び、新しいミュージカルをつくり上げたもので、その初日の舞台に、交流を深めてきた壬生寺保育園の子どもたちが招待されました。

きびきびと勇敢に踊る子どもたちに、会場から温かい大きな拍手が送られました。

よいそう手つながる心

社会福祉法人 柎の木会

介護老人福祉施設 しもつけ荘

介護老人保健施設 みなと荘

認知症老人グループホーム うらら

介護老人福祉施設 いしばし

認知症老人グループホーム いしばし

☎0282-86-0177 FAX.0282-86-3036

☎0282-86-3710 FAX.0282-86-6322

☎0282-86-8600 FAX.0282-86-3036

〒321-0207 栃木県下都賀郡壬生町大字北小林812

☎0285-52-1487 FAX.0285-52-1488

〒329-0502 栃木県下野市下古山1174

☎0285-53-8866 FAX.0285-53-8585

〒329-0501 栃木県下野市上古山569-1



見学・ご相談など
お気軽にお問合せ
下さい。



すけがい保育園 クリスマス発表会

12月10日、すけがい保育園（ありゅう あやこ 蟻生綾子園長）において、クリスマス発表会が行われました。

保護者の皆さんを招いて、ハンドベルの演奏や、お遊戯など日頃の練習の成果を発表しました。4・5歳児による「かぐや姫」では、子どもたちの熱演に観客から歓声が上がっていました。

発表会の後は、クリスマスお楽しみ会が行われ、羽生田小学校の1・2年生による合唱や保育士によるパネルシアター「あわてんぼうのサンタクロース」などを楽しみました。羽生田小学校のお兄さん・お姉さんからは、プレゼントとしてドングリ細工のトトロ人形が贈られ、みんな大喜びでした。



もちつき会 児童館

12月11日、児童館において「もちつき会」が行われ、2歳児から小学6年生までの子どもたちが参加しました。

ボランティアの母親クラブや青少年クラブ協議会の方に協力してもらいながら、大きな臼と杵でもちつきを体験しました。初めての体験に子どもたちは大はしゃぎでした。

もちつきの後は、カルタとり大会が行われ、楽しみながらも白熱した戦いで交流を深めました。最後は、母親クラブの方がつくたてのおもちで作ってくれたお雑煮やきなこもちをいただき、大満足の日でした。

第39回おもちゃ団地チャリティーバザール

12月11・12日の2日間、おもちゃ団地グラウンドをメイン会場として、おもちゃ団地冬の恒例行事、チャリティーバザールが開催されました。

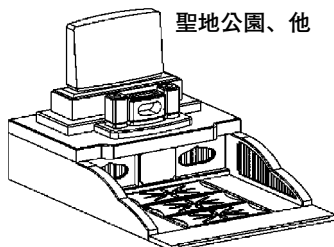
今年も会場には、おもちゃ団地に事業所のある各企業や地元商店街によるテントが立ち並び、各テントには、様々なおもちゃや雑貨、文房具などを買い求める人の列ができていました。

メイン会場では、電車での来場者を対象とした抽選会『電車でエコ』などが行われ、多くの人が集まっていました。

なお、収益の一部は12月15日におもちゃ団地協業組合より、町に寄附されました。



造園土木
草刈・伐採
スズメバチ駆除
墓石・石工事
(完成価格65万円～)



聖地公園、他



お墓ディレクターにご相談下さい

(株)県南環境 TEL 82-6700

大師町25-5/展示場：小金井駅東

《お任せください》

皆様の暮らしを守ります

- 壬生町清掃センター焼却設備運転管理業務
- 農業集落排水処理施設各処理場巡回管理業務

○日本下水道協会賛助会員 ○日本下水道処理施設管理業協会会員 ○東京商工会議所会員

㊦ セントラル工業株式会社

昭和49年2月設立 維持管理業全般 35年の実績

本社：〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南2-1-8 恵比須OTビル6階
栃木営業所：〒323-0807 栃木県小山市城東1-1-32-102

元小結岩木山 関ノ戸親方がメリーランド保育園に来訪

12月15日、元小結岩木山^{いわきやま せきの と}の関ノ戸親方^{わがばやしきょうこ}がメリーランド保育園（若林享子園長）を訪れました。

関ノ戸親方は、現役時代、体格を生かしたぶちかましからの突き押し・寄りを武器に活躍されましたが、病気により今年惜しまれつつ引退され、5月に断髪式を予定しています。

関ノ戸親方の訪問は、堺川部屋とのご縁で実現したもので、短い時間でしたが、園児たちとお相撲の対戦をするなどして、楽しく触れ合いました。



子育て支援センター☆ひよこ☆、ファミリー・サポート・センター 合同クリスマス交流会開催



12月18日、保健福祉センターにおいて、ひよこ利用者親子、ファミサポ会員親子の合同クリスマス会が開催されました。エレクトーンの生演奏に会場は、いちだんとクリスマスの雰囲気があふれました。

一部の「親子エアロビクス」では、多くのパパやママが子ども達と一緒に体を動かしました。二部のボランティアサー

クル「かたつむり」による手話うた、主任児童委員による絵本の読み聞かせ、全スタッフによるオペレッタ「大きなかぶ」では、パパ達も飛び入り参加しおおいに盛り上がりました。最後に、サンタさんからプレゼントが贈られ、子ども達は大喜びでした。

おもちゃ博物館でクリスマスイベント

12月23日、おもちゃ博物館においてクリスマスイベントが開催されました。

ジオラマ館の特設ステージでは、「バルーンパフォーマーみなみ」さんのクリスマスバルーンショーと「大正琴&エレクトーンのクリスマス演奏会」が行われ、訪れた子どもたちは風船を使ったパフォーマンスや、大正琴とエレクトーンの素敵な演奏に大喜びでした。

また、博物館ロビーには、毎年恒例のぬいぐるみクリスマスツリーが設置され、約1,000個のぬいぐるみが入館者を出迎えました。



公立保育園にイチゴのプレゼント

12月27日、壬生町苺出荷組合青年部より、公立保育園の園児たちにイチゴがプレゼントされました。

生産者の多い稲葉地区のいなば保育園には、壬生の農産物ブランド“みぶの妖精”のマスコット「ミーナ」ちゃんも駆けつけ、子どもたちは大きなイチゴとミーナちゃんに大喜び。いただいたイチゴは、給食の時間においしくいただきました。

第19回 壬生町健康ロードレース大会 兼 駅伝選考会



12月5日、壬生町総合公園陸上競技場において、第19回壬生町健康ロードレース大会兼駅伝選考会が開催されました。
395名の選手を代表し、栗田瑞樹君（壬生中学校3年生）の力強い宣誓で始まった今大会は、雲ひとつない青空の下で各レースとも激走が展開され、出場者の皆さんは心地良い汗を流していました。
見事優勝されたのは下記の方々です。

各部門の優勝者

第1スタート (3km)	
● 小学生男子	安生 啓悟 11分20秒
● 小学生女子	福田 夏子 11分26秒
第2スタート (3km)	
● 中学生女子	関口 茉奈 11分25秒
● 一般女子	阿部 瑤子 10分53秒
第3スタート (6km)	
● 一般男子 (40歳以上)	田村 勇 12分08秒
● 中学生男子	尾崎 天佑 21分28秒
● 一般男子	増淵 友徳 19分56秒
第4スタート (2km)	
● 親子ペア	佐藤 譲・勇太 7分48秒



優勝者のみなさん



優勝したキャスルチームのみなさん

8人制サッカー大会で キャスル優勝

11月14日、町総合運動場において、壬生町体育協会サッカー部主催の第2回8人制サッカー大会の決勝戦、第3位決定戦が開催され、優勝はキャスルチーム、惜しくも準優勝は魔Jrチームとなりました。なお、第3位は壬生FCチームでした。

27th

MIBU TENNIS大会

(11月14日 町総合運動場テニスコート 参加者44名)

成績

●男子ダブルス(一般の部)

優勝 高橋 利通・安藤 佳優 組
 準優勝 鈴木 克彰・福田 貴司 組

●女子ダブルス

優勝 山崎美奈子・本田美智子 組
 準優勝 金敷美由紀・早乙女庸子 組

●男子ダブルス 60歳以上の部

優勝 稲見 英明・齊田 晃男 組
 準優勝 阿部 和章・野中 裕二 組



平成22年度町内対抗野球大会

藤井中央が5年振り4度目の優勝

〈参加チーム数〉13チーム

順位

11月7日、14日、21日に町営グラウンドで行われた町内対抗野球大会において、藤井中央が5年振り4度目の優勝を果たしました。

優勝……藤井中央
 準優勝……旭町
 第3位……六美中央
 上稲葉



27th

MIBU バドミントン大会

(11月14日 町総合運動場体育館 参加者30名)

成績

●男子A

優勝 上野・田中 組
 準優勝 佐藤・雨甲斐 組

●一般B

第3位 関・平石 組
 優勝 稲葉(吉)・金子 組
 準優勝 稲葉・浦山 組

●中学生

第3位 盛・大山 組
 優勝 若林・藤江(菜組)
 準優勝 橋本・戸崎 組
 第3位 野口・藤江(麻組)



闘技空手道拳誠会館格闘王座決定戦入賞

11月21日、茨城県取手市で開催された「第14回NPO法人実武道会館オープン空手拳法選手権大会」に、川田塾から組手の部に14名(安塚小1(6年)が出場し、優勝1名、第3位1名の成績を残しました。本大会は、オープントーナメント制で県内外から200名(組手・男女混合)が出場し熱戦が繰り広げられました。

○小学3年の部

・優勝 土橋龍之介
 ・3位 川田佳那子



壬生小学校が栃木県学校給食優良学校、南犬飼中学校が 栃木県健康推進学校優秀校として表彰されました

12月10日、栃木県総合文化センターにおいて、第5回栃木県健康教育研究大会が開催され、壬生小学校と南犬飼中学校が表彰されました。

壬生小学校は、学校医、PTA役員等で構成された学校保健給食委員会の活動や「食に関する年間指導計画」を柱に、大島久美子栄養教諭が年間約80時間の授業実施、年間24回「給食だより」を発行するなど、稲見均校長はじめ学校関係者が一丸となって、食への関心や理解を高める等の努力が認められ、栃木県学校給食優良学校として表彰されました。

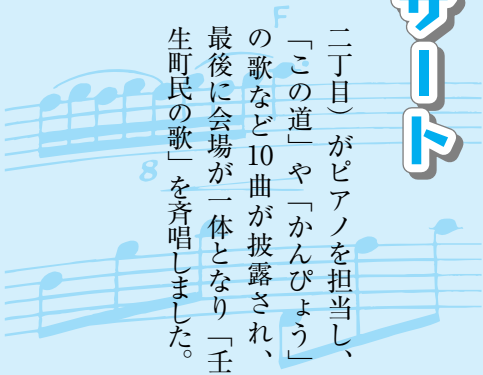


議場コンサート

12月10日の定例会初日に、議場コンサートが初めて行われました。

本会議前の約20分間、歌とピアノによる美しい音色を堪能しました。

地域で音楽活動に取り組む松山美由紀さん（本丸二丁目）が歌を、大島由紀さん（本丸



二丁目）がピアノを担当し、「この道」や「かんぴょう」の歌など10曲が披露され、最後に会場が一体となり「壬生町民の歌」を斉唱しました。

教育・文化・スポーツの振興に取り組む

こんにちは！壬生町教育委員会です！

第9回「壬生町の食育・学校給食」

壬生町では、栄養教諭（1名）と学校栄養職員（3名）を中心に、町内全小中学校の学校給食と食育の充実に取り組んでいます。

①義務教育9年間を見通した、系統的、継続的な「食に関する指導」（食育）を進めています。

②和食を基本に子どもたちに「本物の味」を伝えています。

③すまし汁やうどんのつゆなどはかつお節から、みそ汁などは煮干しから、ていねいにだしをとっています。

④おいしい！安心・安全！そして手づくりを心がけています。

⑤郷土壬生町とのつながりを大切

にしています。

○「地産地消」 地場産物の旬の食材を使っています。

○地域の生産農家での農業体験や、生産者との会食など、交流を推進しています。

○四季折々の行事食を献立に取り入れています。

○食器のデザインも壬生町オリジナルです。

④給食の質の向上と衛生管理レベルの向上に日々努力しています。

○他市町に先駆け、町の学校調理員が一堂に会し、現場学習会を開催するなど、研修体制を充実させています。

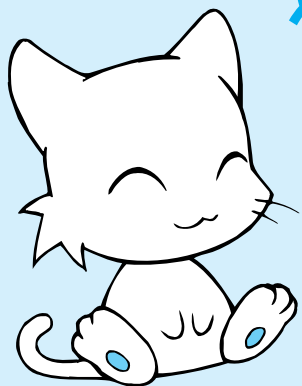
「食育だより」でPR!



壬生町学校給食地産地消推進会発行
(年3回)

※HPにも掲載しています。
是非ご覧ください！

みんなの広場



わが家のアイドルに



たかくら ゆう ま
高倉 優真ちゃん(H22.1.29生)
(幸町二丁目)



すず き たま み
鈴木 珠実ちゃん(H22.1.31生)
(駅東)

今回は3月生まれのアイドルを募集します。写真は掲載後にお返しいたします。

【締 切】2月18日

【必要事項】氏名(ふりがな)、保護者名、生年月日、電話番号

【申込方法】必要事項を明記の上、役場企画財政課または稲葉・南犬飼出張所、生涯学習館まで

【申 込 先】町総務部企画財政課情報広報係
〒321-0292

壬生町通町12-22

Eメールアドレス

info@town.mibu.tochigi.jp



すず き はると
鈴木 陽翔ちゃん(H22.1.29生)
(万町)



ふく だ まこと
福田 真ちゃん(H21.1.21生)
(釜力淵)

歴史民俗資料館だより

発掘された遺跡シリーズ (17)

『しもつけ古墳群』

第三回「銀装の刀子」が出土した吾妻古墳

平成23年2月5日から3月13日まで開催する資料館企画展「しもつけ古墳群」について紹介しています。

により石室内や石室の前面から「挂甲」をはじめとする遺物が出土し、吾妻古墳の正確な年代も判明し、吾妻古墳が「下野型」と言われる古墳の始まりの古墳でもあることが判明しました。

壬生町には吾妻古墳をはじめ、国の指定を受けた古墳が5基あります。いずれの古墳も国の史跡のため、今日まで本格的な学術調査が行われませんでした。

そこで吾妻古墳の正確な範囲や石室の残存状況を調査するため、平成19年度から栃木県教育委員会が調査を開始いたしました。

従来、吾妻古墳については、城址公園に移設されている石室の玄門が巨大な凝灰岩で造られていることから、石室の本体も凝灰岩の切石で造られていると推測され、造られた時代についても巨大な石を巧みに加工していることなどから、古墳時代でも新しい古墳と考えられていました。

しかし発掘調査の結果や県内の考古学者の研究から、巨大な凝灰岩を用いて石室を造る技術は古墳時代においては、古くから行われてきたことが判ってきました。とくに、平成22年度・23年度の調査



吾妻古墳の玄門 (石室の入り口)

※「銀装の刀子」をはじめ吾妻古墳の出土資料については、会期中の変更がありますので注意してください。

※挂甲…古墳時代の甲冑です。

問合せ先

歴史民俗資料館
☎ 82-8544

南犬飼中学生が「年賀状」で 高齢者と心の交流



年賀状を作成したのは、生徒会福祉委員会主催による学年ボランティア活動に参加した南犬飼中学校2年生の生徒達です。

学年ボランティア活動は、年賀状を送って高齢者との交流を図ることにより、社会の一員としての自覚を高めることや、人生の大先輩である高齢者に、尊敬と感謝の気持ちを持ち、温かい人間愛の精神を深めることを目的としています。

手紙には、「お体に気を付けて今年も元気に過ごしてください。」と優しい言葉が書かれています。

12月上旬に作成した年賀状は、町の事業で社会福祉法人栃の木会、町シルバー人材センターに委託して実施している在宅の一人暮らし高齢者等への配食サービスのお弁当に添えて、1月上旬、町シルバー人材センター職員の温かい言葉とともに、届けられました。

寄 附

11月7日、壬生ライオンズクラブ
（君島充宣会長）より、福祉事業
に役立てて欲しいと、5万円の寄
附がありました。



工作「くしゃくしゃ紙から生まれたよ」



壬生東小1年
宇賀神 彩愛

— お詫びと訂正 —

広報みぶ12月号23頁「みんなの広場」にお
いてお子様の名前に誤りがありました。

「川村準也ちゃん」とありましたが、正し
くは「川村隼也ちゃん」です。お詫びして
訂正いたします。

表紙の写真

「壬生町民の歌」を歌おう1000人
大合唱。
詳しくはP4～5をご覧ください。



2月の納税等	
● 固定資産税・都市計画税 (4期)	
● 国民健康保険税 (8期)	
● 介護保険料 (8期)	
● 後期高齢者医療保険料 (8期)	
納期限	2月28日



壬生東小3年
繪面 萌笑



絵画「ブランコ乗れたよ」

